



令和5年度 大田区立雪谷中学校 学校経営計画

校長 柳 歆子

1. 学校経営目標

地域・保護者の発想や意見を学校経営に取り入れながら、全教職員が力を発揮できる環境を作り、「生徒・教職員が誇りに思い、保護者・地域から信頼される学校教育」を構築する。

2. 目指す生徒の姿

- 1) 自己や他者の良いところに向けられることができ、**自己肯定感が高い**生徒
- 2) コミュニケーション能力、表現力を持ち、**他者と協働できる**生徒
- 3) 学力・体力の向上を目指し、**ねばり強く努力する**生徒



3. 目指す学校教育の姿

- 1) わかりやすく、**生徒が主体的に学べる授業**
- 2) 様々な個性を持つ**すべての生徒に対する温かく根気強い支援**
- 3) 保護者の思いを理解した、**良きパートナーとしての誠意ある連携**



生徒の自己肯定感を高めるために、雪谷中学校が心がけること

- 1 基礎的な社会性を確実に身に付けさせるとともに、教育活動の中に様々な場面を設定し、生徒が自分の**得意な分野で活躍**したり、**良いところを伸ばす**ことができるようにする。
- 2 生徒が課題を達成できるような**適切な助言、褒める指導、励ます指導**を行う。
- 3 生徒が、**生徒自身の発想や企画**による活動を通して、達成感や自信を持つことができるような機会を積極的に創出する。
- 4 個に応じた指導ができるよう、**生徒理解、授業のユニバーサルデザイン化に関する教員研修**を継続的に実施する。

令和5年度より、雪谷中学校は **コミュニティースクール** となります。

目標：地域、保護者の発想や意見を学校経営に取り入れ、質の高い教育を創り上げる。
地域、保護者の力を活かし、生徒の学校生活を豊かにする。

4. 経営方針の5つの柱

1 確かな学力の定着

令和5・6年度 大田区教育委員会教育研究協力校 として
「生徒用タブレットを活用した、主体的対話的で深い学び」の研究を行います。

授業内容の充実

- ・対話的な学習、探求的な学習の推進
- ・「表現させる授業」の構築
- ・ユニバーサルデザインの考え方に基づいた授業づくり
「視覚化」「焦点化」「共有化」
- ・生徒用タブレット、電子黒板等 ICT の活用

学力補充の充実

- ・補習教室（放課後、長期休業中、定期考査前）
- ・家庭学習の習慣化

朝読書の充実

- ・毎朝 10 分間の朝読書（通年）
- ・言語活用能力、表現力の育成

データによる改善

- ・学力調査の分析と共有
- ・PDCA サイクルによる指導力の向上



2 健やかな体づくり

体力・運動 能力の向上

- ・保健体育授業の充実
- ・運動会等、体育的行事の充実
- ・体育授業（ダンス）への外部指導員の活用
- ・運動部活動における体力 UP
- ・規則正しい生活習慣による体づくり

健康教育 食育の推進

- ・健康教育：保健体育科、養護教諭
- ・食育：学級担任、栄養士
- ・アンケート調査の実施、分析
- ・家庭との連携、「朝食摂取率 100%運動」への取組
- ・体力UPのための給食メニューの工夫



3 豊かな心の醸成

協力と団結

【学校行事】

- ・運動会 ・ 蛍雪祭（合唱コンクール、舞台発表）
- ・移動教室（菅平） ・ 社会科見学
- ・修学旅行（奈良、京都）



自主性、積極性

【生徒会活動】

- ・生徒会役員会、専門委員会
- ・生徒総会
- ・ボランティア活動

思いやりの心

【相談の充実、福祉体験】

- ・教育相談 ・ 個人面談 ・ スクールカウンセラーの活用
- ・福祉体験学習

「さわやか・あいさつ・雪中生」

あ：あかるく 元気に
い：いつでも どこでも
さ：さいしょに 自分から
つ：つづけることが大事

朝：おはようございます
昼：こんにちは
夕：さようなら



4 キャリア教育の充実

職業理解

- ・職業調べ（1年）
- ・職場体験（2年2学期：事業所での実体験）

進路選択

- ・高校の先生による講話（2年）
- ・高校説明会（3年）

国際理解

- ・国際理解講演会（1年）



5 地域に貢献する学校づくり

学校・保護者・地域の連携

社会の一員としての自覚

- ・ 2年 職場体験学習
- ・ 吹奏楽部 演奏
- ・ 学校支援地域本部との連携
- ・ ボランティア活動



教育目標

- 心身ともに健康な生徒
 - ・ 健全な精神と健康な身体
- 自ら学び、実行できる生徒
 - ・ 自立心と不言実行力
- 礼儀正しい生徒
 - ・ 社会常識と他者を尊重する姿勢



Yukigaya Junior High School